科目名	画像生理情報解析学演習	分野・必選別・単位数	専門科目(臨床検査医学)	選択	2単位

担当教員	◎准教授　増山里枝子　　講師　崎原ことえ					科目ナンバー	T4C108
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習

授業の概要	実際の症例から得られた画像生理情報について適切な判断を下すことができること、そして最新の機器の適切な活用法とその限界を説明できることを目標に、多数の症例と文献調査を通して、演習、データ統計処理を行う。必要に応じ実地指導を行う。
授業の到達目標	①最新の機器の作動原理を説明できる。 ②機械操作のポイントと、データの理解から合理的な判断を選択できる。 ③検査機器の適切な活用法とその限界を説明できる。 ④症例の各種検査データを分析して疾患を説明できる。

授業計画

回数	担当者		行動目標
1	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(1) KW:WISC
2	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(2) KW:WAIS
3	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(3) KW:K-ABC
4	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(4) KW:田中ビネー
5	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(5) KW:MABC2
6	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(6) KW:フロスティッグ視知覚検査
7	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(7) KW:SLTA
8	崎原ことえ	講　師	神経心理の検査法を実施できる。(8) KW:WCST
9	増山里枝子	准教授	脈管検査について演習を行い説明できる。(1) KW:血圧測定、ABI
10	増山里枝子	准教授	脈管検査について演習を行い説明できる。(2) KW:PWV、CAVI
11	増山里枝子	准教授	脈管検査について演習を行い説明できる。(3) KW:FMD、EndPAT
12	増山里枝子	准教授	脈管検査について演習を行い説明できる。(4) KW:SPP、$tcPO_2$
13	増山里枝子	准教授	脈管検査について演習を行い説明できる。(5) KW:QOL評価、WIQ
14	増山里枝子	准教授	脈管検査について演習を行い説明できる。(6) KW:運動負荷試験
15	増山里枝子	准教授	脈管検査について演習を行い説明できる。(7) KW:APG

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	随時指示する。
参考書	随時指示する。
成績評価の方法および基準	口頭試問80%、レポート20%
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。